

各 位

会 社 名 テクニカル電子株式会社

代表者の役職名 取締役社長 代表執行役員 早川 義 彰

(JASDAQ・コード番号：6716)

問 合 せ 先 経理部 部長 八子 将

T E L 03 - 3762 - 5152

平成 19 年 3 月期通期 (連結・単独) 業績予想の修正に関するお知らせ

平成 19 年 3 月期 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 19 年 2 月 9 日付当社の「平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結) 」及び「平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (個別) 」にて発表致しました業績予想を下記のとおり修正致します。

1. 平成 19 年 3 月期 連結業績予想の修正

(1) 通期の業績予想 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 3 月 31 日) の修正

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	8,300	380	260
今回修正 (B)	8,753	461	263
増減額 (B - A)	453	81	3
増 減 率	5.5%	21.3%	1.2%

(2) 修正理由

当社は、中期 3 カ年の経営目標・指標として「品質」・「コスト」・「納期」の 100% 実行とグループ売上高 100 億円達成を目指し「Challenge100」をスローガンに掲げ企業体質の改善を進め各事業部門が確実に成果を出せるよう努めております。

このような情勢の中で、駐車場関連事業においては、第 3 四半期以後も、当社直営駐車場の回転率が高く収益性が安定しており、駐車場機器販売も好調に推移致しました。また、電子精密部品事業もコネクタ・ソケットの電子部品及び連結子会社 EPE (株) のプレス品 (精機部門) 等が好調に推移していることから売上高は予想を上回る見込みであります。

収益面におきましても、売上高の増加と伴に、1 年間継続した「再生プロジェクト」が効を為し、電子機器部品事業等の収益力が改善されていることから、経常利益、当期利益も予想を上回る見込みであります。

(3) ご参考 : 前期の実績 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)

(単位 : 百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	6,998	9	45

2. 平成19年3月期 単独業績予想の修正

(1) 通期の業績予想(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	5,200	140	80
今回修正 (B)	5,544	240	120
増減額 (B - A)	344	100	40
増減率	6.6%	71.4%	50.0%

(2) 修正理由

当社は、中期3カ年の経営目標・指標として「品質」・「コスト」・「納期」の100%実行とグループ売上高100億円達成を目指し「Challenge100」をスローガンに掲げ企業体質の改善を進め各事業部門が確実に成果を出せるよう努めております。

このような情勢の中で、駐車場関連事業においては、第3四半期以後も、当社直営駐車場の回転率が高く収益性が安定しており、駐車場機器販売も好調に推移致しました。また、電子精密部品事業もコネクタ・ソケットの電子部品が好調に推移していることから売上高は予想を上回る見込みであります。

収益面におきましても、売上高の増加と伴に、1年間継続した「再生プロジェクト」が効を為し、電子機器部品事業等の収益力が改善されていることから、経常利益、当期利益も予想を上回る見込みであります。

(3) ご参考:前期の実績

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期	3,665	259	248

以上